

# 大学女子競技者の月経前症候群（PMS）に関する研究

## —競技意欲とソーシャルサポートの観点から—

海原 礼奈 （三重大学）

### 1. 目的

本研究では、月経前症候群（以下、PMS）が大学女子競技者の競技意欲に及ぼす影響を明らかにすると共に、PMS の症状を有する競技者へのよりよいソーシャルサポートの在り方について検討することを目的とした。

### 2. 研究方法

- 1) 対象者：M 大学に所属する女子競技者 55 名
- 2) 調査方法：質問紙によるアンケート調査
- 3) 分析方法：一元配置分散分析、Kruskal-Wallis test により PMS の症状別に競技意欲得点（TSMI）及びソーシャルサポートの必要度・十分度得点について比較を行った。

### 3. 結果と考察

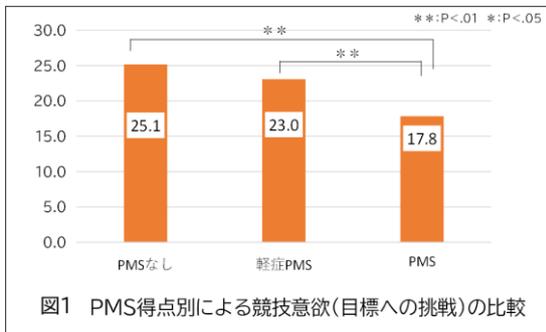
#### 1) PMS の症状について

PMDD 評価尺度の判定基準に従って、対象を 3 群に分類した。「PMS（PMDD）あり群」が 36.4%（20 名）、「軽症 PMS 群」が 21.8%（12 名）、「PMS なし群」が 41.8%（23 名）であった。

#### 2) PMS の症状別による競技意欲得点の比較

##### ①目標への挑戦の比較

「PMS なし群」と「PMS あり群」、また「軽度 PMS 群」と「PMS あり群」との間で有意に「PMS あり群」の得点が低い結果であった。



##### ②精神的強靭さ

「PMS なし群」と「PMS あり群」との間で有意に「PMS あり群」の得点が低い結果であった。

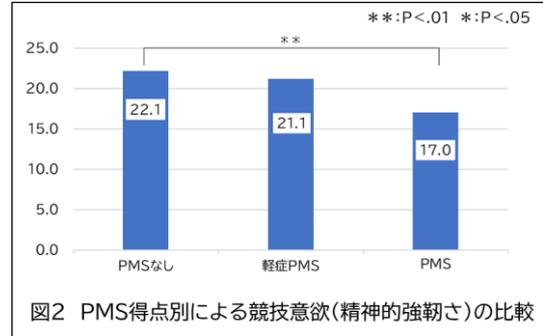


図2 PMS得点別による競技意欲(精神的強靭さ)の比較

①、②の結果から、PMS は競技意欲得点に影響を及ぼすことが明らかになった。

#### 3) PMS 競技者へのソーシャルサポートに関する調査

##### ①ソーシャルサポート必要度得点

「PMS あり群」において有意に情緒サポート、認知サポート、道具サポートの必要度得点が高い結果であった。

##### ②ソーシャルサポート十分度得点

「PMS あり群」において有意に情緒サポート、道具サポート、評価サポートの十分度得点が低い結果であった。

①、②の結果から、PMS の精神的な症状に対して情緒面に働きかける情緒サポートと PMS の症状によって生じる諸問題を直接解決する道具サポートがより影響を及ぼすサポートであることが示唆された。

### 4. 結論

本研究の結果から、PMS は大学女子競技者の競技意欲に影響を及ぼしていること、またソーシャルサポート（情緒サポート、道具サポート）の有効性が示唆された。今後はさらに対象者を増やし、結果の信頼性、再現性を検討する必要がある。

### 5. 主な参考文献

- 1) 宮岡佳子ら, PMDD 評価尺度の開発と妥当性及び信頼性の検討, 日本女性心身医学会雑誌 vol. 14, No. 2 pp. 194-201, 平成 21 年 10 月